

平成 20 事業年度

決算報告書

自：平成 20 年 4 月 1 日

至：平成 21 年 3 月 31 日

国立大学法人富山大学

平成20事業年度 決算報告書

(自：平成20年4月1日 至：平成21年3月31日)

国立大学法人富山大学
(単位：百万円)

| 区 分 | 予算額 | 決算額 | 差 額 (決算－予算) | 備 考 |
|---------------------|--------|--------|----------------|-------|
| 収 入 | | | | |
| 運営費交付金 | 13,880 | 14,589 | 709 | (注1) |
| 施設整備費補助金 | 658 | 733 | 75 | (注2) |
| 補助金等収入 | 67 | 281 | 214 | (注3) |
| 国立大学財務・経営センター施設費交付金 | 67 | 67 | - | |
| 自己収入 | 17,456 | 17,935 | 479 | |
| 授業料及び入学金及び検定料収入 | 5,366 | 5,258 | -107 | (注4) |
| 附属病院収入 | 11,964 | 12,386 | 422 | (注5) |
| 雑 収 入 | 126 | 290 | 164 | (注6) |
| 産学連携等研究収入及び寄附金収入等 | 1,336 | 1,597 | 261 | (注7) |
| 引当金取崩 | - | 5 | 5 | (注8) |
| 長期借入金収入 | 1,525 | 1,525 | - | |
| 承継剰余金 | - | 0 | 0 | |
| 旧法人承継積立金 | - | 56 | 56 | (注9) |
| 目的積立金取崩 | - | 203 | 203 | (注10) |
| 計 | 34,989 | 36,996 | 2,007 | |
| 支 出 | | | | |
| 業務費 | 24,640 | 25,576 | 936 | |
| 教育研究経費 | 13,176 | 13,570 | 394 | (注11) |
| 診療経費 | 11,464 | 12,005 | 541 | (注12) |
| 一般管理費 | 5,511 | 4,755 | -755 | (注13) |
| 施設整備費 | 2,250 | 2,303 | 53 | (注14) |
| 補助金等 | 67 | 281 | 214 | (注15) |
| 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等 | 1,336 | 1,529 | 193 | (注16) |
| 長期借入金償還金 | 1,185 | 1,182 | -2 | (注17) |
| 計 | 34,989 | 35,630 | 641 | |
| 収 入 - 支 出 | - | 1,365 | 1,365 | |

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、決算額には平成18年度及び19年度繰越運営費交付金債務を含むため、予算額に比して決算額が709百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備費補助金については、耐震対策事業費22百万円及び医学部定員増に伴う学生教育用施設整備事業費55百万円が措置されたことなどにより、予算額に比して決算額が75百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の獲得増により、予算額に比して決算額が214百万円多額となっております。
- (注4) 授業料及び入学金及び検定料収入については、主に休学者及び退学者の増加により、予算額に比して決算額が107百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、目標値と比較して診療単価（外来）のアップ 1,079円・外来延患者数 20,437人増などにより、予算額に比して決算額が422百万円多額となっております。
- (注6) 雑収入については主として研究関連収入の増加などにより、予算額に比して決算額が164百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、外部資金の獲得に努めたため、産学連携等収入 203百万円の増加及び寄附金収入54百万円の増加したことなどにより、予算額に比して決算額が261百万円多額となっております。
- (注8) 引当金取崩額については、予算段階で予定していなかった退職給付引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が5百万円多額となっております。
- (注9) 旧法人承継積立金については、目的に沿って共通造形棟の整備等を行い、予算額に比して56百万円多額となっております。
- (注10) 目的積立金取崩については、目的に沿って附属病院の医療用設備購入のため88百万円及び陸上競技場改修等に115百万円充てたことにより、予算額に比して決算額が203百万円多額となっております。
- (注11) 教育研究経費については、教員の給与等131百万円減少及び（注3）、（注7）に示した理由により475百万円増加したことなどにより、予算額に比して決算額が394百万円多額となっております。
- (注12) 診療経費については、診療報酬請求額増による医療経費の増 158百万円、医療機器購入の増 220百万円、光熱水料の増 60百万円などにより、予算額に比して決算額が541百万円多額となっております。
- (注13) 一般管理費については、人件費が定年者の不補充や再雇用への切替えにより見込額より少なかったことや、教育研究経費への予算振替などにより、予算額に比して決算額が755百万円少額となっております。
- (注14) 施設整備費については、（注2）に示した理由により、予算額に比して決算額が53百万円多額となっております。
- (注15) 補助金等については、（注3）に示した理由により、予算額に比して決算額が214百万円多額となっております。
- (注16) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、（注7）に示した理由により、予算額に比して決算額が193百万円多額となっております。
- (注17) 長期借入金償還金については、予算策定時点に比して金利の変動により、予算額に比して決算額が2百万円少額となっております。

○損益計算書の計上科目と決算報告書の集計区分の相違の概要

- (1) 損益計算書に計上されている人件費は、決算報告書上は業務費及び一般管理費に含めて表示しております。
- (2) 損益計算書に計上されている支払利息281百万円は、決算報告書上は長期借入金償還金272百万円、業務費9百万円に含めて表示しております。